

図書館へ行こう！

BOOKS

図書館ホームページ▶



父の日

6月の第3日曜日は父の日。本の中で活躍する個性的なお父さんの姿をご覧ください。

『オー！ ファーザー』

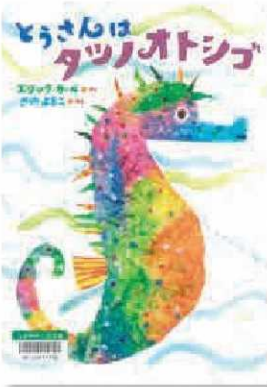
伊坂幸太郎／新潮社



高校生の主人公は、4人の父親と母との6人家族。当時の母が同時に4人と付き合っていたからという理由ですが、麻雀好き以外はタイプの違う個性的な人物ばかりで、彼らに振り回されることが日常茶飯事。普通の高校生活を望む主人公が巻き込まれる事件とは。

『とうさんはタツノオトシゴ』

エリック・カール さのようこ／偕成社



子育てをする魚がたくさん登場する絵本。おなかのポケットに卵を抱えたタツノオトシゴのお父さんが、海の中で出会うのは、子育て中のお父さん魚たち。カラフルな魚の様子が仕掛け絵本で描かれていて、夏を迎えるこれからにぴったりです。

『ぼくのお父さん』

矢部太郎／新潮社



初物のタケノコをお父さんが絵をかき終わるまで食べられず、冷めてしまった思い出。家にいて掃除や洗濯をしたあと、公園で一緒に絵を書いたり遊んだりするお父さん。絵本・紙芝居作家である父とのエピソードが優しいタッチで描かれた1冊。

『手づくりビール読本 ガーデニング派まで』

初心者から本格派・笠倉暁夫／農山漁村文化協会



ベランダや庭でホップを栽培して麦汁を手作りすれば、お気に入りの味でオリジナルビールを味わえる、そんな夢がかなえられるかも。原料の基礎知識やビールの作り方だけでなく、ビアパーティーを楽しむためのノウハウまで紹介した1冊。

今月の 新着図書

一般書 ●『糖質疲労』山田悟／サンマーク出版 ●『老いてお茶を習う』群ようこ／KADOKAWA ●『日本初の女性裁判所長三淵嘉子』平凡社

児童書 ●『そらめくんのこしょこしょこしょ』なかやみわ／小学館 ●『野球しようぜ！』とりごえこうじ／世界文化ワングループ ●『最高にすごすぎる天気図鑑』荒木健太郎／KADOKAWA

七夕・夏のおなはし会

～読み聞かせボランティアが楽しいお話をしてくれます～



【本館】7月6日（土）午前10時30分～
【野田川分室】7月7日（日）午前10時30分～
【加悦分室】7月13日（土）午前10時30分～

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
● 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



江山文庫 開館30周年

平成6年に開館した江山文庫は、10年で開館30周年を迎えます。

短歌と俳句の資料館

地域ゆかりの文人である与謝蕪村や与謝野礼蔵・鉄幹・晶子にちなみ、俳句や短歌の振興を目的として、平成6年に開館した「江山文庫」。「江山」は大江山のことで、かつて与謝蕪村が丹後に滞在したときに、京都の友人宛てに書いた手紙の中で大江山を江山と記した故事に由来しています。

同施設では、近世から現代にかけての俳句・短歌や書作品、日本画の掛軸、短冊、色紙、襖・屏風、書籍約1500点を所蔵。これらの

所蔵資料を活用して、俳句や短歌が身近に感じられるような企画展示、文化講座を日々行っています。

俳句にまつわる さまざまな取り組みも

毎月第2金曜日に開催している文化講座「れつつ句会体験」は、4月に通算100回を達成。平成26年に開始したこの講座は、来館の方から寄せられた「町内の俳句会に参加してみたいけれど、いきなりベテランぞろいの場に混じるのは不安」という声がかきつけられた。以来、誰でも楽

現在、旧尾藤家住宅重要文化財指定記念展として「重文邸宅の障壁画」を開催中。旧尾藤家住宅をかつて飾った襖絵や屏風を紹介する展覧会ですが、襖絵の中から探せる季語を紹介したりなど、俳句につながる展示にもなっています。

江山文庫開館30周年を記念して、今月から4回にわたり連載します。次回は8月号です。

しく参加できる俳句講座として続いています。未経験者の方こそ大歓迎です。
また、11月24日には、与謝野町の俳句イベント「第13回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会」を、江山文庫開館30周年記念として開催します。6月20日からの募集開始に向け、町内の各所に募集要項を設置するほか、左記の二次元コードからも応募ができますので、皆さんのご応募をお待ちしています。



【施設情報】 ● 所在地／与謝野町字金屋 1682 番地 ● ☎ 43-2180 ● 開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
● 入館料／一般 200 円、小中学生 100 円（8人以上の団体は 50 円引き） ● 休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）